

# 文章題テスト・小説(2)

日 月 名前

★次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

(小学五年生の宇佐子は、同級生のミキちゃん——ちょっと変わった子でクラスになじもうとしない——のことが気にかかっている。ある日の学校帰り、宇佐子はミキちゃんのをそとつけていった。)

団地の建物は、いくつかのブロックに分けられていて、ブロックごとに垣根の木の種類がちがう。垣根の中は、ちょっと他人の家のニワか何かのような感じがして、入りにくい。宇佐子はからたちの垣根の外側からそと静かな団地の中をのぞいた。三輪車がほり出してあった。

だれのすがたもないだろうと思つてのぞいたからたちの垣根の内側で、ミキちゃんがこちらを向いてすました顔をしていた。いったい、いつ、宇佐子がいるのに気づいたのだろう。宇佐子はミキちゃんと目があつたしゅんかん、まるで小さな動物みたいにびくつとした。ミキちゃんが手招きをするから、宇佐子はそとからたちの垣根の中に入っていった。階段をはさんで左右に建物が並んでいる団地の入り口でミキちゃんは宇佐子が来るのをマッていた。

「ここが家なの。遊んでいって」

ミキちゃんは宇佐子にそう言った。ミキちゃんの家は四階だった。

「ここが家なの」

ミキちゃんはだまっている宇佐子にまた同じことを言った。宇佐子はランドセルのベルトを手でおさえながら考えこんでしまった。ランドセルをせおったまま遊びに行つてはいけないと学校でも家でも言われていた。そのきまりをやぶつたことはこれまで一度もなかった。友だちの家に遊びに行くのは、





4 線3「宇佐子はランドセルの……考えこんでしまった」とありますが、このとき宇佐子はどのようなことを考えていたのですか。最もふさわしいものを、ア～エから選んで、記号に○をつけなさい。

ア ミキちゃんの家には行ってみたいけれど、あまり話したことがないのに  
楽しく遊べるかな。

イ ミキちゃんの家には行きたくないけれど、はっきりことわるのは悪いような  
気がするし、こまったな。

ウ ミキちゃんの家には行ってみたいけれど、学校帰りに友だちの家に遊びに  
行くのはいけないことだし、どうしようかな。

エ 学校帰りに友だちの家に遊びに行くのはいけないと知っていてさそうなんて、  
ミキちゃんはいじわるだな。

5 線4「べつのこと」とは、どのようなことですか。次の□に当てはまる言葉を、五字でいどで書きなさい。

ミキちゃんの家には、ほかにも

のでは

ないかということ。

6 この文章から読みとれる「ミキちゃん」の性格として最もふさわしいものを、ア～エから選んで、記号に○をつけなさい。

ア 短気で、おこりっぽい

イ 気が弱くて、さびしがりや

ウ 少し自分勝手に、せっかち

エ 気が強くて、負けずぎらい

